

2 調布市の農家の仕事①

● 調布市の畑 ●

めあて

ちょうふし

調布市ではどのような作物が
 作られているか調べよう。

みさきさんたちは、畑の様子を見て話し合いました。



①調布市の畑

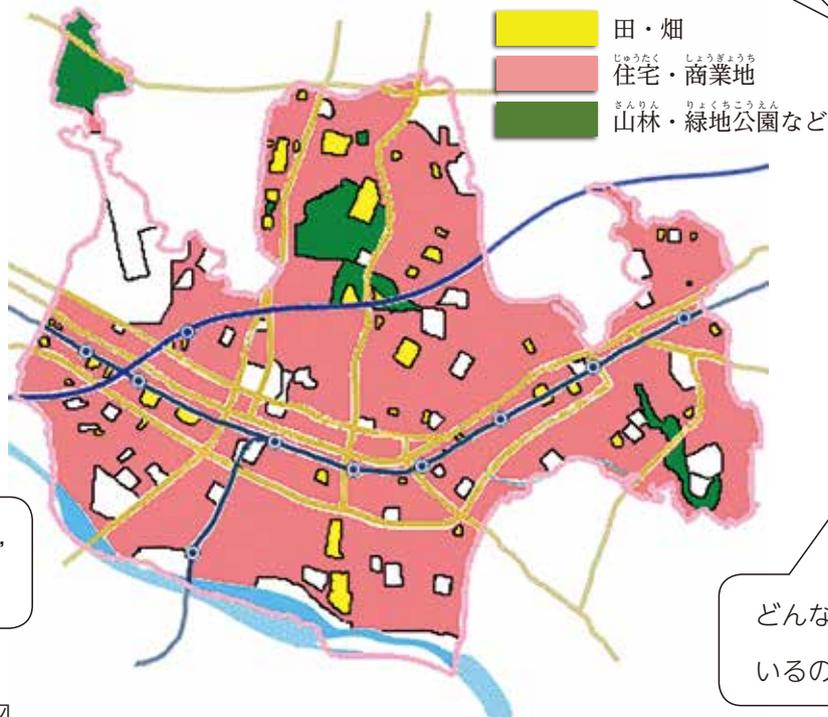


ぼくの家近くでも見たことがあるよ。



まち探検の時に、いろいろな畑を見たことがあるよ。

調布市にはどれくらいの畑があるのかな。



畑は全体で見ると、あんまりないね。



どんな野菜を作っているのかな。

②調布市の土地利用図

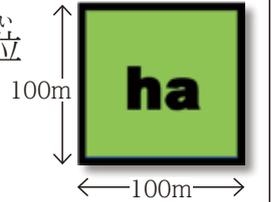
ドロンバウイズ

調布市ではどんな作物が作られているのでしょうか。



調布市の多くは、^{じゅうたくち}住宅地や^{しょうぎょうしせつ}商業施設で占められていますが、市内全体には140^{ヘクタール}haほどの^{たはた}田畑があります（市内全体の約6%）。そこでは、どのようなものがつくられているのでしょうか。

ha（ヘクタール）・・・畑の広さを表す^{たんい}単位
 （100m×100mの正方形が1ha）
 校ていのトラック約10こ分の広さ



いろいろな^{しゅるい}種類の作物が作られているね。



③調布市の畑で生産されている作物

ぼくが^{そうぞう}想像しているより、いろいろな種類をつくっていたよ。



何を多く作っているのかな。



栄養士の土谷さんの話

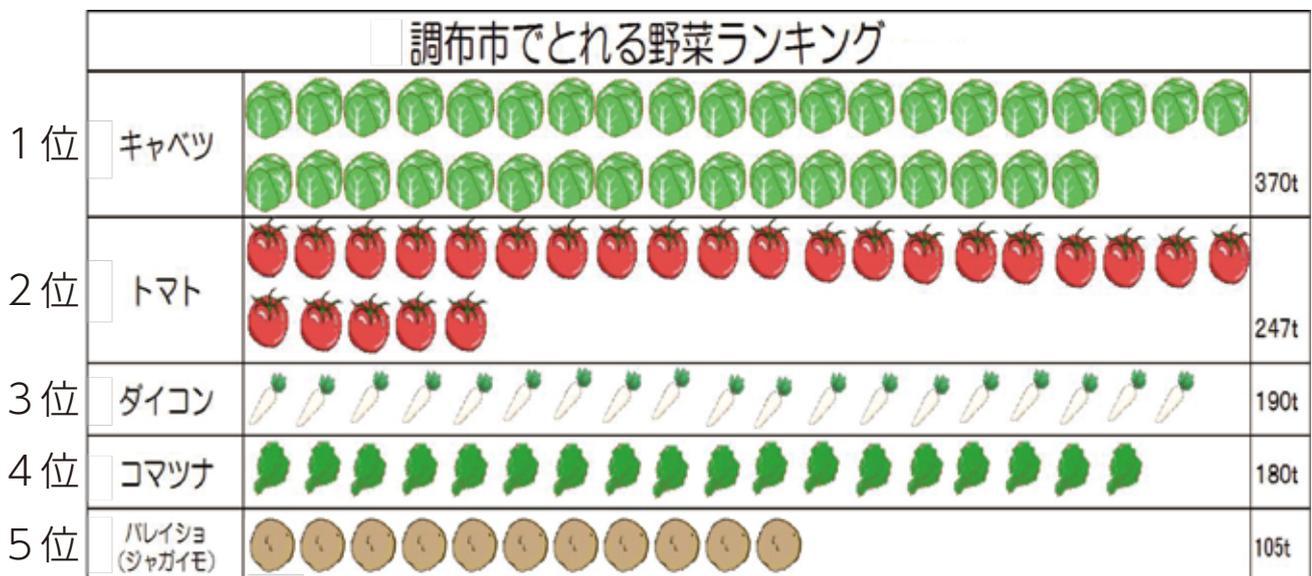
調布市内では、キャベツや小松菜などの野菜やキウイフルーツなどの^{くだもの}果物が作られています。

みなさんが毎日食べている学校給食にも、調布市で作られている野菜がたくさん使われていますよ。とれたての野菜を農家の方が^{ちよくせつ}直接学校に持ってきてくれるので、とってもおいしいです。

めあて

野菜が作られている様子を調べ、
学習問題を立てよう。

みさきさんたちは、調布市でどんな野菜が多く作られているのかを調べ、気づいたことやぎもんに思ったことを話し合いました。そして、話し合ったことをもとに学習問題をつくりました。



①調布市でとれる野菜ランキング平成28年度（2016年） 1つの絵文字は、10t

こんなにたくさんのキャベツが作られているね。

一つの畑でキャベツだけを作っているのかな。

ぼくが見た畑では、いろいろな野菜を作っていたよ。

野菜によって作る時期も違うんじゃないかな。



②畑の様子

野菜	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
エダマメ				種まき	種まき	種まき	種まき	種まき	種まき			
トウモロコシ			種まき									
トマト			種まき									
キュウリ			種まき									
(夏播き)						種まき						
ナス		種まき		種まき								
リーフレタス	種まき											
ブロッコリー		種まき										
ハクサイ	種まき											
ダイコン	種まき											
ジャガイモ			種まき			種まき						
ニンニク						種まき						
ベビーリーフ	種まき											

③畑の仕事ごよみ

ビニールハウス栽培

種まき

植付け

収穫



キャベツばかり育てているわけではないね。



時期が重なってしまうと、大変そう。



農家の新井さんの話

わたしの畑では、夏には枝豆やトウモロコシ、秋にはキャベツやブロッコリー、大根など約30種類の野菜を育てています。おいしい旬な野菜を食べてもらいたいので、たくさんの種類の野菜を育てるようにしています。季節によって、とれる野菜が変わってきますので、一年中、作業をしています。

一年中、仕事をしているんだね。



あんなにたくさんの種類の野菜を育てるのは大変そう。



新井さんが育てている野菜

【5月～7月ごろにとれる野菜】

枝豆、トウモロコシ、キュウリ、ナス、ピーマン、ししとう、ジャガイモ、ショウガ、サツマイモ、ほうれん草、小松菜 など

【10月～12月ごろとれる野菜】

ブロッコリー、キャベツ、大根、レタス、ニンニク、サトイモ、ベビーリーフ、ルッコラ、わさび菜 など



学習問題

調布市の農家の方は、どのような工夫をして野菜を育てているのだろう。

めあて

農家見学に行き、野菜づくりの工夫くふうを調べよう。

新井さんの畑でいろいろな野菜づくりの工夫を聞きました。

土づくりをする



たねをまく



育てる



しゅうかくする



しゅうかくする



育てる



農家の新井さんの話

野菜を虫や自然環境しぜんかんきょうから守るために、ビニールハウスを使ったり、マルチビニールをしいたりしています。

しもよけや雑草よけざっそうよけの役割があります。





①ビニールハウスの様子



②マルチビニールをしく



③土づくりの様子



④土に混ぜる肥料



⑤トラクター



⑥ショベルカー



農家の新井さんの話

おいしい野菜をつくるために、様々な方法をためしています。例えば、マルチビニールをしく前に米ぬかを土に混ぜていい土を作っています。他にも種を余分にまくこともあります。育った苗の中からよいものだけを残します。手間は増えますが、おいしい野菜をつくるため、手をぬかないように意識しています。

安全な野菜をつくるために、農薬も使います。使うときには、虫を殺す薬ではなく虫を寄せ付けなくする薬を使うようにしています。また、なるべくまく回数を減らせるように必要な量を見極めて使っています。

また、仕事を効率良く仕事ができるように機械を使っています。畑を耕すためのトラクターやマルチを引くための機械があります。このようにして野菜をたくさん収穫できるようにする工夫も行っています。

その他にも、自然にあるものを肥料にして、環境にも気をつけています。

めあて

地いきでとれた野菜は、
どこにどのように^{はこ}運ばれるのかを調べよう。

しゅうかくされた野菜は、
どこで買うことができるの
かな？



学校の給食でも調布市でと
れた野菜が使われているっ
て聞いたよ。



家の近くのスーパーで売っているの
を見たことがあるよ。



みさきさんたちは、農家の方にどのように野菜をとどけているのかを聞きました。

農家の方のお話



畑でしゅうかくした野菜は、にわ先の^{ちよくばいじよ}直売所にならべてはんばいして
います。そのほかにも、近くのスーパーや学校、市内のJAにとどけて
います。

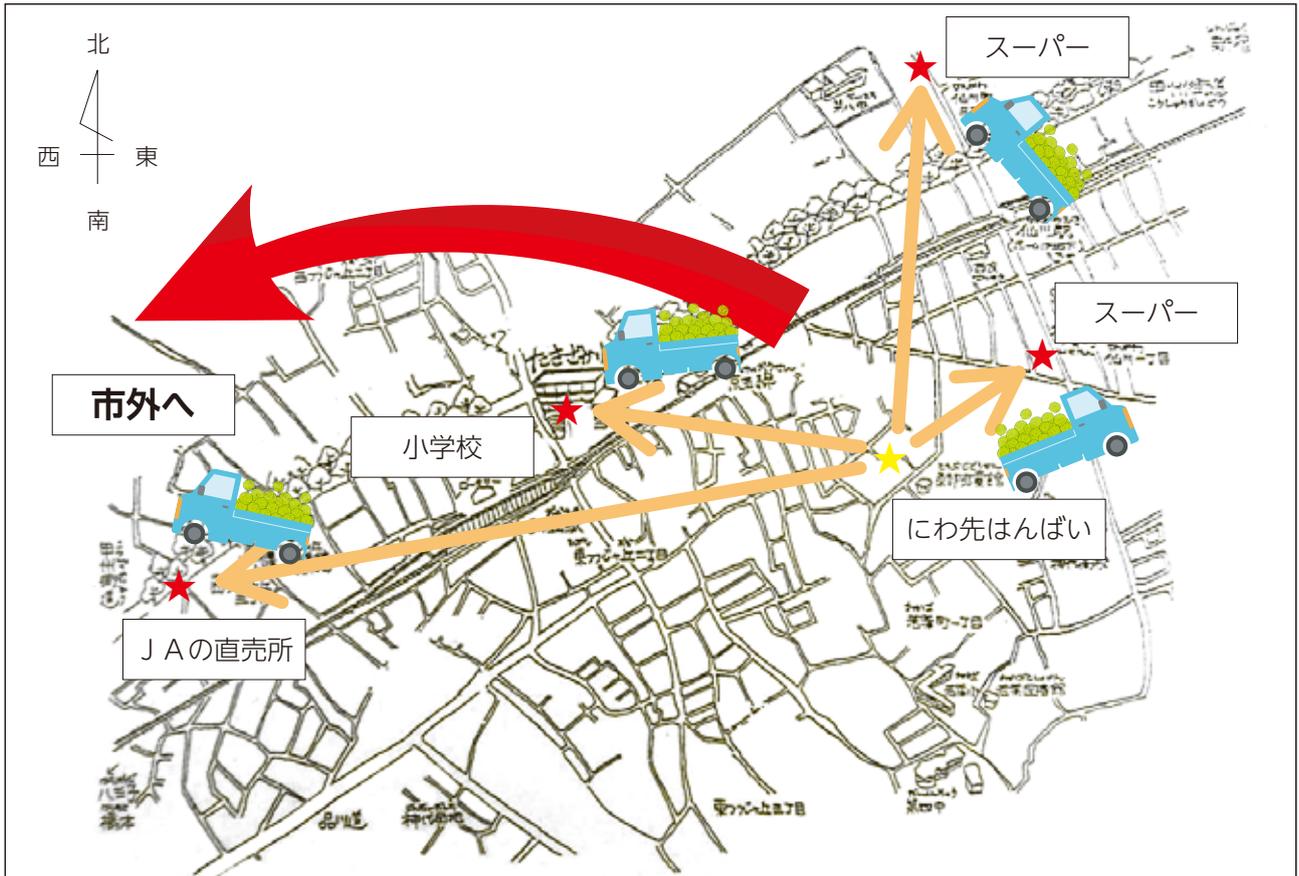
市内の農家のなかには、市場にもっていったり、デパートなどのお店
にとどけたりしている人もいます。



調布駅の近くだね。市内で
とれた野菜がたくさん買え
るんだね。



《地いきでとれた野菜の行き先》



いろいろなところに運ばれているんだね。



今度どこかで買ってみたいな。



給食ではどんな食ざいが使われているのかな。

調布市外	調布市内
ちかくの市の市場 (世田谷区や府中市)	にわ先はんばい
デパート	市内のスーパー
	J A マインズ
	学校



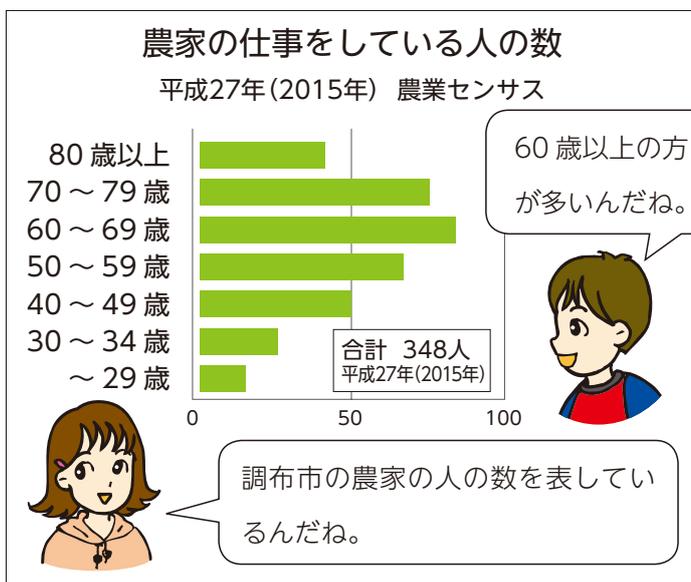
単元のまとめ

調布市の農家の人は、作る時期を考えたりひりょうをつかったりするなど、様々な工夫をしながら野菜作りに取り組んでいる。

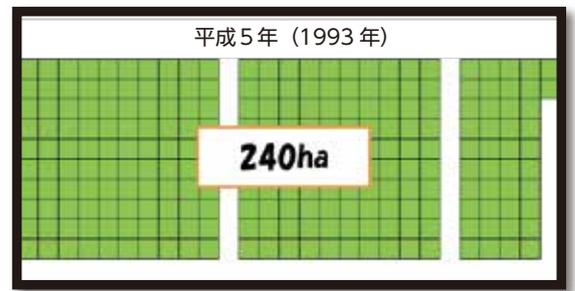
めあて

調布市の農家はどのような人に
支えられているのかを調べよう。

ひろしさんたちは、新井さんの仕事の工夫を知って、調布市の農家について、くわしく調べてみることにしました。



《畑の広さのうつりかわり》



(1つの■は1ha)

せっかくいろいろな工夫をしながら野菜作りをしているのにざんねんだね。

農家を続けていくための何かよい方法はないのかな。

ゆうたさんたちは、市役所の人に話を聞くことにしました。

市役所の人のお話

市役所では、農家の方をサポートするためにいろいろな取り組みを行っています。例えばトラクターやきかいをせっちするときのお金のほじょをしたり、調布市産の野菜を使った商品を開発したりしています。また、秋には農業祭りを開さいして、調布市の野さいのよさを市民に知ってもらえるようにしています。

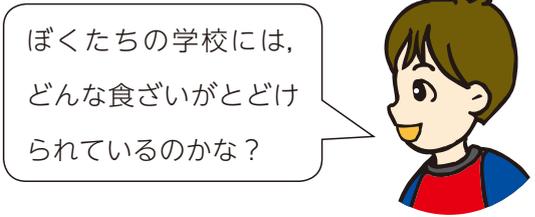


①農業まつり



学校とのつながり

平成4年(1992年)に学校と農家が
エスアンドエイ
 S & Aというそしきを作りました。「安全で新せんな野さいを学校きゅう食へ！」を合言葉に調布市でしゅうかくした農さん物を学校きゅう食に提供しています。

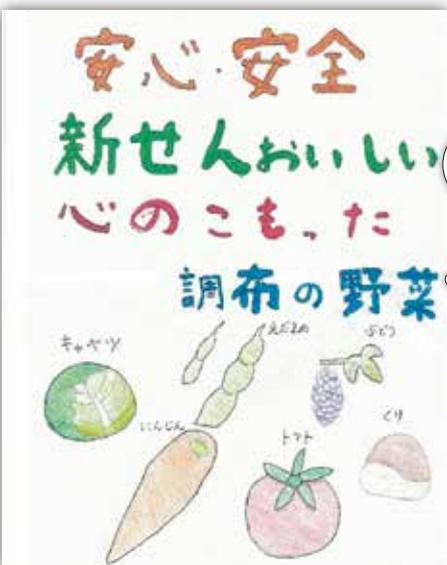


地いきでとれた野さいをとれた地いきで使うことは、野さいを運ぶきよりが短いため、地球かんきょうにもやさしく、地いきの田や畑を守る仕事を守ることにもつながります。



社会科のまど —ポスターによるまとめ方—

学習してわかったことをポスターにまとめましょう。



学習したことを生かして、キャッチコピーを作ろう。

イラストを使って、相手にわかりやすく伝えよう。

